

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年										2024年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~1日	9月 ~8日	9月 ~15日
カンピロバクター	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	6	11 (12)	12
病原性大腸菌	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	18	9 (13)	18
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	0	0	0
サルモネラ	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	4	2	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	2	3	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	3	5	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	0	1	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	0	0	1

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第37週(9月9日~9月15日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1		1	1	1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1		1					
四類	2	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1				1			
五類	11	急性弛緩性麻痺	1							1
		播種性クリプトコックス症	1			1				
		百日咳	3					3		
		梅毒	6	1				3	1	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 マイコプラズマ肺炎

定点当たり7.00人の報告がありました。1999年の感染症法施行以降の最多を既に上回り、多い状況が続いています。

マイコプラズマ肺炎は、長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.26人の報告があり、前週と比べて減少しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 百日咳

3件の報告があり、今年の累計は13件となりました。

感染経路は、飛沫感染と接触感染です。7～10日程度の潜伏期間を経て、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。肺炎や脳症などを合併することもあり、1歳以下の乳児、特に生後6か月未満の乳児は重症化するリスクが高く、注意が必要です。

予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。



9月24日から30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。(次ページ参照)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減		前週と比較しておおむね
												↑	↓	
インフル	インフルエンザ	2	0.06	0.52		小児科	ヘルパンギーナ	8	0.36	0.86		↑	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナ(COVID-19)	79	2.26		↘		流行性耳下腺炎	-	-	0.04		↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
小児科	RSウイルス感染症	2	0.09	1.12		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	咽頭結膜熱	6	0.27	0.21			流行性角結膜炎	10	1.25	0.55		↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.64	0.84	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		⇒	⇒	ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	69	3.14	2.52	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-		⇒	⇒	ほとんど増減なし
	水痘	8	0.36	0.10			マイコプラズマ肺炎	42	7.00	0.06	↗	↗	↗	ほとんど増減なし
	手足口病	59	2.68	1.31	↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↘	↘	ほとんど増減なし
	伝染性紅斑	2	0.09	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		↘	↘	ほとんど増減なし
	突発性発しん	4	0.18	0.51										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	80	90歳代
4	レジオネラ症	1	16	70歳代
5	梅毒	3	116	20歳代・2人、70歳代・1人
5	百日咳	3	13	10歳未満・3人